

神明神社(久喜市菖蒲町)

ここが神明神社/一の鳥居



標柱には神明神社社叢が天然記念物として埼玉県指定を受けていることが記されている







埼玉県指定
天然記念物
神明神社の社叢しや そう

埼玉県南埼玉郡菖蒲町大字上栢間三二六六他
昭和五十二年三月二十九日指定

神明神社は、古くから住民の信仰を集めてきた由緒ある社である。

社叢は、長さが五五〇メートルをこす参道林と境内林とから成り、面積は約一七四ヘクタールに及ぶ。参道の両側には、アカマツ・クロマツの並木が続いている。境内林は、高木にアカシデが多く、部分的にスキが点在する。これより低い木としては、ヒサカキ・シロタモ・エゴノキ・アズマネザサ等が多い。草木類では、チヂミザサ・ジャノヒゲ等が比較的多い。この社叢は、現在はアカシデを主体とした不安定な状態を示しているが、潜在的にはヒサカキ・サカキを主体とするシラカシ群を、自然植生とみることができるとする。

境内にあるアカマツの大木は、樹状が笠状を呈するので、「笠松」として知られている。

埼玉県東部低地には、潜在自然植生をよく示す広域的な林は少なく、貴重である。

昭和五十四年十一月三日

埼玉県教育委員会
菖蒲町教育委員会

さまざまな石造物がある



550mをこす参道の向こうに社殿がある





両サイドにはこんな水堀が参道に並行している



ようやく正面遠方に社殿が見えてくる



二の鳥居





神明神社

所在地 南埼玉郡菫蒲町大字上栢間

神明神社の創立は、社伝に景行天皇の時といわれる。祭神は、古くは天照皇大神、豊宇气毘売神、大宮売神の三神であったが、現在は天照皇大神、豊宇气毘売神の二神を祭っており、伊勢神宮の分霊のため、近年まで、神明両社と呼んでいた。

江戸時代、徳川家譜代の家臣内藤四郎左衛門正成が、栢間および新堀、三箇、戸ヶ崎、小林の旧五か村を領してから、五か村の總鎮守として以来、歴代の領主が厚く崇敬した。

明治六年に村社となり、昭和十六年郷社に昇格し「神明神社」と改称、さらに昭和二十年に県社となった。

本殿は、天保八年(一八三五)に建てられたもので、昭和三十八年に屋根を改修している。

毎年一月十五日には、火防除と呼ばれる「鎮火祭」と、その火で粥を煮てその年の作物の豊凶を占う「筒粥」の神事が行われる。筒粥の神事は、大鍋に米三合水六升を入れ、葺の節のないところを長さ七寸位に切り、十八本を賣状にし麻で結ぶ。一本一本の葺に米粒が入る数によって占い、多くの米粒がはいったものほど豊作とされている。

昭和五十八年三月

埼玉 県

正面は拝殿/左手は神楽殿



神楽殿





埼玉県史蹟天然記念物神明両社大榎とある



拝殿/神明造







本殿/神明造/江戸時代末期建立



右手が本殿



本殿/二神が祀られているため二棟となっている



神額には三嶽山とある



三嶽社



神額には八幡宮とある



八幡宮



埼玉県史蹟天然記念物神明神社笠松とある





手水舎









周辺にはこんな石造物もあった





参考ホームページ

http://saitamano.blogspot.jp/2008/07/blog-post_18.html

<http://kmiryoku.no.coocan.jp/sinmeijiniva.html>

<http://ameblo.jp/mayu2130/entry-10728155041.html>

<http://ameblo.jp/unicornd/entry-11265057509.html>

<http://5.pro.tok2.com/~tetsuyosie/saitama/kukisi/SinmeiKamikayama/sinmei.html>

<http://kagura999.ikaduchi.com/hpbqsite/mysite1/newpage35sinmei.html>

http://blog.goo.ne.jp/vaiisan2008_2008/e/a98ea23d8fb141623381decb49717caf

<http://kagura.wa-syo-ku.com/%E4%B9%85%E5%96%9C%E5%B8%82%E3%81%AE%E7%A5%9E%E7%A4%BE/>



鎮守の森公園

ここが鎮守の森公園





こんな高まりがあった





一応前方後円墳に見立てたモニュメントということか/天王山塚古墳の50分の1に模したものともしう

